# 修学旅行新聞

発行所　財団法人
全国修学旅行研究協会
発行人　白滝末紀
東京都千代田区西神田
2丁目8—7（幅ビル）
電話（262）2426・2932
振替（東京）36337


修学旅行は学習を社会に移したもので、生活指導及び集団訓練の好機会であり、教育計画の一環として行なう学校教育上極めて重要な行事である。
従って修学旅行を安全かつ有効に実施するための企画及び運営を科学的に調査研究して、常にその改善に努力しつつ教育効果の充実向上を図る事は必要であり教育界に課せられた義務でもある。
（財団法人・全国修学旅行研究協会の趣意書から）

高校の修旅地図

## 大幅に塗りかえ

# 自然のふところに

## 長野県へ入込み激増

交通難や公害に悩む都市への修学旅行が、しだいに大自然を求めて山岳地帯へ移っている——。長野県観光課が四十四年度高等学校修学旅行の入り込み状態をまとめたところ、前年度より四〇%増の三百六校、約七万三千名の生徒が同県におもむき、さらに昨年、ことしと次第に激増しているものと予想している。長野県では「自然に親しむ修学旅行案内」（B5判三十六ページ）を発行、学校に頒布するなど熱をいれている。

長野県への入り込みは、どこの地区からが多いか。三百六校のうち近畿と中国地区からそれぞれ六十九校（各三二・五%）が訪れて第一位を占め、二位は関東の四十七校（一五・四%）三位が四国の四十四校（一四・四%）四位は東海の三十四校（一一・一%）五位が九州二十九校（九・五%）六位東北九校（三・〇%）七位北陸甲信越五校（一・六%）の順となっている。

これらの高校はどこで宿泊しているか。①中信地区が百八十四校（三九・一%）②東信地区百三十八校（二九・三%）③北信地区九十六校（二〇・三%）④諏訪地区四十六校（九・八%）⑤上下伊那地区七校（一・五%）で実施時期は春から夏、秋と年間を通じている。

同観光課では修学旅行として長野県を訪れた各高校に対しアンケートを求めた結果、百二校から次のような回答があった。

**おもな目標**　長野県を選んだか、については①自然観察が四十一校（四〇・二%）②見学三十二校（三二・三%）③自然観察と見学二十二校（二二・五%）④自由研究と見学四校（四・〇%）⑤自然観察と自由研究二校（二・〇%）で、自然に接することが大きな目標となっている。

**一校の参加人員**　参加生徒数をみると三百五十一名—四百名が最高で十七校、つづいて二百五十一名—三百名が十六校、四百名—四百五十名が十四校、三百一名—三百五十名十一校となっており、いずれも大部隊で参加していることが目立つ。

**特別な催し**　修学旅行中、特別な催しを取り入れた五十四校の内訳は①キャンプ・ファイアー十二校（二二・二%）②登山十一校（二〇・四%）③登山とキャンプ九校（一六・七%）④リンゴ狩り七校（一三・〇%）⑤キャンプとリンゴ狩り四校（七・四%）などで体育とリクリエーションを加味した計画が取り入れられている。

**日程と形態など**　日程は①五泊六日が五十四校（五二・五%）②四泊五日二十一校（二〇・四%）③三泊四日十四校（一三・六%）の順。旅行形態は巡回方式が八十七校（八四・五%）。基地方式が十校（九・七%）。

利用した交通機関は往復国鉄で現地は貸切バス八十六校（八五・〇%）往復とも貸切バスが八校（八・〇%）で、県内の貸切バスのうち「よかった」が十七校（一七・〇%）「普通」三十九校（六一・九%）「わるかった」七校（一一・一%）。

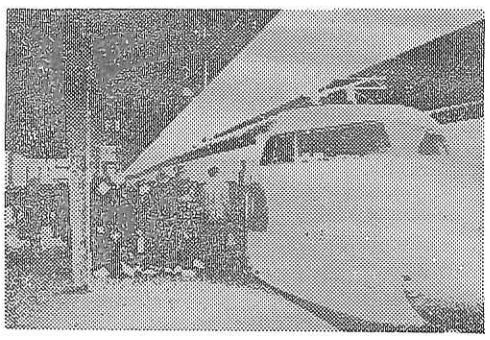
そのほか学校側の希望としては「修学旅行専用列車の増発」が九校、「バスでは見学地の詳しい説明を」が六校、「宿舎の整備充実」六校、「道路の整備」十六校「医療設備の設置」二校となっている。

# 笑顔のせて

## ——新幹線修学旅行——

## 関西第1陣出発

【大阪】近畿地区の新幹線修学旅行の第一陣は四月十四日午前八時五十分新大阪駅を出発した。



㊤新幹線に乗り込む生徒たち㊦車内では大はしゃぎ（新大阪駅で）

この日、大阪地方はうららかな日ざしがいっぱい、生徒たちの夢もいっそうふくらんだ。第一陣は兵庫県洲本中の洲浜中二百五十七名、青雲中二百二十九名、由良中百六名、中川原中四十一名、安平中三十九名、上灘中十四名の合計六百八十六名の部隊。新しいスーツ・ケースなどを手にした生徒たちは整然と列車に乗り込み発車を待つ。やがて定刻、ベルが鳴り終わるとともに列車は関東方面に向けすべり出した。

# 国鉄でアンケート

## 新幹線の修旅生に

国鉄では新幹線利用の修学旅行生に対し今後の改善に資するため四月十九日新大阪発、同二十日名古屋発の上り列車からアンケートを求めることになった。調査は六項目で無記名。項目の内容は次の通り。

一、こんどの修学旅行をのべて今までに新幹線を何回利用したか。二、新幹線についての良い点は。三、悪い点は。四、車内の案内放送は。五、こんで、修学旅行専用電車に愛称をつけるとしたら、どんな名前がよいと思うか。六、ほかに新幹線について希望や意見があったら記入してください。

近畿地区中学校修学旅行列車は秋季を含めて約五万三千三百名を運ぶことになっている。

## 場内模様がえ

### 学術館　科技

### 新展示品も登場

科学技術館（日本科学技術振興財団経営）では本年度に総額八千四十七万円を投じて場内の模様替えを行なった。新展示品としてはサーキノ・立体音響部門（四階）の"あなたを包む音と映像の世界"で新映画を上映するほか多チャンネル立体音響の再生実験も行なう。

三階の「能力検査・理化実験部門」で興味をひくのはサイエンス・ショウのコーナーで修学旅行生の人気をよんでいる。そのほか二階の日本の造船技術をみせる「航空・船舶部門」では三十二万トンのタンカーを五十分の一の模型にしたものがすばらしい。タンカーの断面からパイプを通る原油も見られる仕組み。二階の「車両部門」の超高速列車の展示と解説、情報産業として電子計算機をふくむコンピュータ部門など、最新の展示品が網羅されている。一階の常設団体休憩場（三百席）や地階の大食堂（三百五十席）は修学旅行用として好適。午前九時三十分から午後四時五十分まで。月曜休み。中・高校生の団体は一人七十円。問い合わせは東京都千代田区北の丸公園二—一、同館普及課。（電話〇三—二一二—八四七一）

## 瀬戸内にフェリー

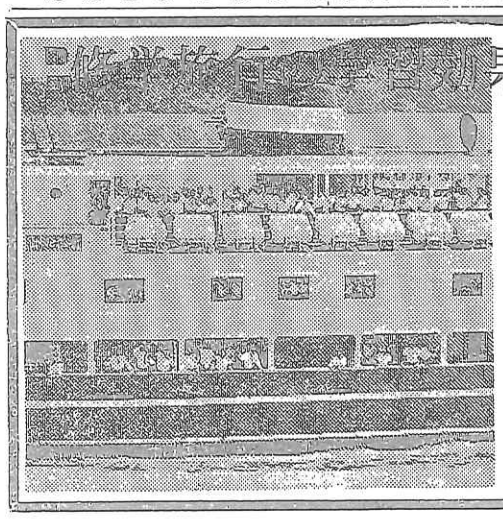
### 関西汽船の大型船

海の銀座・瀬戸内海にもカー・フェリーが登場しつつあるが、関西汽船株式会社（長谷川茂社長）でも三月二十日から阪神—松山—別府に大型観光フェリーを就航させた。使用するのは「ゆふ」で、六月からは「まや」も登場する。いずれも三千三百総トン、航海速力二十ノット、定員千百九十四名、自動車は約五十台が搭めるという関西汽船自慢の豪華船である。

あと始末も忘れずに
東京都を美しくする運動・主唱／東京都　協賛／全修協

## 風紋

〝早稲田大学「21世紀の日本」研究会はその論文の中で東北地方に首都を移すのがいいと提案した。すなわち、政治と経済のゆ着が東京をパニック状態におとしいれているから政治の中心を切り離さなくては東京の再建はできないという主張だ▽日本の首都は歴史的に九州、近畿、関東へと北上してきた。次は東北の番だという。過疎地帯に首都を移せば、日本列島のバランスがとれるから、二十一世紀は北上京に遷都するという儀式で幕をあけるがいいとのことである。これは現実はなれした意見のようでもあるが、よく考えてみると、もっとも現実的な着想のようでもある▽全国新幹線、高速道路網の完成、空の交通の飛躍的発達により、時間距離から日本列島が円形化する未来予測の上にたてば、徳川江戸城に天皇が入られたように、藤原三代栄華の跡に二十一世紀の新首都の図をひくのも決してわるくない。この構想は、政府が明治百年記念事業の一環として、民間から「日本の国土と国民生活の未来像の設計」をテーマとして募集した学術論文総合賞三点の一つの中にある▽昭和四十五年度の人口を四十年に対比すると、秋田、岩手、山形ともに九七%、福島は九八%に減り、東北過疎地帯化の現象が目だっている。これと対照的に関東は野並みに過密化してきた。同じ対比率をみると、埼玉一二八%千葉一二五%神奈川一二四%と人口集中がひどく、これが一一四〇万の大東京をまん中にして、ひしめき合っているものだから、日本列島のバランスがとれなくなり、このままでは二十一世紀の推定一億三千五百万の巨大人口がどうなるものかと心配される▽このところ東京駅八重州口あたりのものすごい雑踏の中を縫うように、修学旅行の列がひっきりなしに動いている。生徒たちはこの人間の波浪をどう感じ、どう受けとめているのだろうか。「首都を東北に」という提案をこの生徒たちに、それなりに考えさせてみたらどうだろう。

果向上のために

全船冷暖房完備の修学旅行専用船

わかば丸・ふたば丸

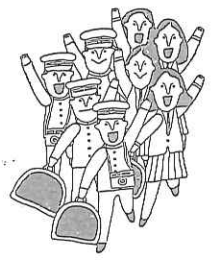
旅客定員805名・1,100トン
●一般客との混乗がありません
●船内での学習や研究ができます
●海・船の社会科研究もできます
楽しい有意義な瀬戸内海の修学旅行を！

関西汽船

●お問合せは…大阪（441）9161
ほか関西汽船各地営業所・各旅行斡旋案内所

充実した修学旅行

ツーリストをお役立てください



ツーリストでは意義ある行事をさらに充実させるために、事前、または事後学習用として"修学旅行映画"シリーズを製作しております。

●修学旅行映画シリーズ
奈良　京都　京都の庭園　富士箱根　日光
大和の国なか　大和の塔　火とみどりの国
瀬戸内海　みちのく　大和の道　大和の石
（いずれも文部省選定、16ミリカラー、上映時間25～40分です）

電子計算機がおてつだいする　ひまわり窓口　「登録第20号」
近畿日本ツーリスト

# 教職員の研修旅行
# 1万名達成へ突進

## 続々と申込み殺倒
## 多彩なコースに魅力

全修協企画による本年度教職員研修旅行は、いよいよ本格的な募集段階に入り、各支部や協力機関では申込み受付けと問合わせに大わらわ。目標一万名獲得という全組織あげての念願達成も間近い。このほか、ことしから日教組企画の「ヨーロッパ教育事情視察団」の実施は全修協が行なうことになり、この「視察団」への申込みも殺倒している。各地区別の実施コース日程、会費など次の通り。

### 四国地区
―前号のつづき―

▽沖縄　日程＝三泊四日。出発＝七月二十九日（予定）会費＝五万七千円（大阪空港―大阪空港）定員＝中四国で四十名。

▽香港・台湾　日程＝五泊六日。出発＝八月二日（予定）会費＝十二万四千円（新大阪―東京空港―大阪空港）定員＝全国で五十名。

### 近畿地区

滋賀、京都、奈良、大阪、兵庫および京都市、大阪市。

▽北海道A（滋賀、奈良のみ）日程＝八泊九日。出発日＝七月三十日（予定）会費＝四万八千五百円（新大阪―新大阪）定員＝近畿で百名。

▽北海道B（滋賀、京都府市、奈良、大阪府市、兵庫のみ）日程＝五泊六日。出発日＝七月二十二歳、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七日のうち（予定）会費＝五万三千円（新大阪―大阪空港）定員＝近畿で七百名。

▽九州一周（滋賀、京都府、奈良、大阪府市のみ）日程＝六泊七日。出発＝七月二十八日（予定）会費＝三万八千五百円（新大阪―大阪空港）▽定員＝近畿で百五十名。

▽東北一周（滋賀、京都府、奈良、大阪府市）日程＝六泊七日。出発日＝七月二十四日、二十五日（予定）会費＝三万五千円（大阪―新大阪）定員＝近畿で二百八十名。

▽佐渡・鱒梯・蔵王（滋賀、京都府、奈良、大阪市のみ）日程＝五泊六日。出発日＝七月二十八日（予定）会費＝三万四千円（新大阪―新大阪）定員＝近畿で八十名。

▽立山・信濃路（滋賀、奈良、大阪市、兵庫のみ）日程＝五泊六日。出発日＝七月二十九日、八月一日（予定）会費＝二万九千五百円（大阪―大阪）定員＝近畿で三百名。

▽南四国（滋賀、京都府、奈良、大阪府市のみ）日程＝四泊五日。出発日＝七月三十日、三十一日（予定）会費＝二万八千円（新大阪―大阪空港）定員＝近畿で百四十名。

▽篠美大島・徳之島（滋賀、大阪府市、兵庫のみ）日程＝四泊五日。出発日＝七月二十七日（予定）会費＝四万一千円（大阪―大阪）定員＝近畿で四十名。

▽沖縄（滋賀、京都府、奈良、大阪府市）日程＝三泊四日。出発日＝七月二十九日（予定）会費＝五万七千円（大阪空港―大阪空港）定員＝近畿で四十名。

### 北陸地区

新潟、富山、石川、福井。

▽北海道A　日程＝八泊九日（新潟）九泊十日（富山、石川、福井）出発日＝上野八月三日（予定）会費＝四万四千三百円（上野―上野）五万一千円（富山―富山金沢―金沢）定員＝北陸で百五十名。

▽北海道B　日程＝六泊七日。出発日＝上野七月二十七日、三十日、三十一日のうち（予定）会費＝四万九千二百円（上野―東京空港）五万六千円（富山―金沢、金沢―金沢、金沢―福井）定員＝北陸で百二十名。

▽九州一周　日程＝八泊九日。出発日＝七月二十九日（予定）会費＝四万一千六百円（新大阪―新大阪）定員＝北陸で八十名。

▽東北一周　日程＝六泊七日。出発日＝七月二十五、二十六日のうち（予定）会費＝三万三千円（上野―上野）定員＝北陸で七十名。

▽伊勢志摩・南紀　日程＝四泊五日。出発日＝七月二十九日（予定）会費＝二万三千七百円（名古屋―新大阪）定員＝北陸で五十名

▽飛鳥・柳生・京都　日程＝四泊五日。出発日＝七月二十七日または二十八日（予定）会費＝二万二千九百円（京都―京都）定員＝北陸で五十名。

▽山陰　日程＝五泊六日。出発日＝七月二十九日（予定）会費＝二万八千二百円（新大阪―京都）定員＝北陸で六十名。

▽四国一周　日程＝六泊七日。出発日＝七月二十八日（予定）会費＝二万九千八百円（大阪港―新大阪）定員＝北陸で五十名。

▽篠美大島・徳之島　日程＝四泊五日。出発日＝七月二十九日（予定）会費＝四万一千円（大阪―大阪）定員＝北陸で三十名。

▽沖縄　日程＝三泊四日。出発日＝七月二十九日（予定）会費＝四万四千三百円（上野―上野）五万四百円（名古屋―名古屋）定員＝東海・北陸で四十名。

▽香港・台湾　日程＝五泊六日出発日＝八月二日（予定）会費＝十二万円（東京空港―大阪空港）定員＝全国で五十名。

▽北海道B　日程＝六泊七日。出発日＝七月二十五日、二十六日のうち（予定）会費＝四万九千一百円（上野―東京空港）五万五千六百円（名古屋―名古屋）定員＝東海で百五十名。

▽九州一周　日程＝八泊九日。出発日＝七月二十九日（予定）会費＝四万二千円（名古屋―名古屋）定員＝東海で百五十名。

▽東北一周　日程＝六泊七日。出発日＝七月二十五、二十六日のうち（予定）会費＝三万三千円（上野―上野）三万九千円（名古屋―名古屋）定員＝東海で八十名。

▽佐渡・鱒梯・蔵王　日程＝五泊六日。出発日＝七月三十日または三十一日（予定）会費＝二万八千七百円（上野―上野）定員＝東海で七十名。

▽飛鳥・柳生・京都　日程＝四泊五日。出発日＝七月二十七日または二十八日（予定）会費＝二万二千八百円（京都―京都）定員＝東海で七十名。

▽山陰　日程＝五泊六日。出発日＝七月二十九日（予定）会費＝二万八千七百円（上野―上野）定員＝東海で七十名。

▽篠美大島・徳之島　日程＝四泊五日。出発日＝七月二十九日（予定）会費＝二万九千八百円（大阪港―新大阪）定員＝東海で五十名。

▽四国一周　日程＝六泊七日。出発日＝七月二十九日（予定）会費＝二万九千八百円（大阪港―新大阪）定員＝北陸で五十名。

▽香港・台湾　日程＝五泊六日出発日＝八月二日（予定）会費＝十二万円（東京空港―大阪空港）定員＝全国で五十名。

▽北海道A　日程＝八泊九日。出発日＝八月三日（予定）会費＝四万四千三百円（上野―上野）五万五千六百円（名古屋―名古屋）定員＝東海で百五十名。

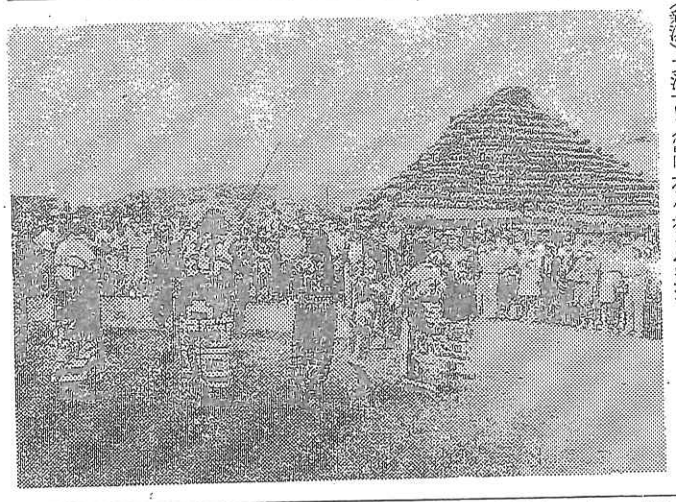
▽沖縄　日程＝三泊四日。出発日＝七月二十九日（予定）会費＝四万三千円（名古屋―名古屋）定員＝東海で百五十名。

▽篠美大島・徳之島　日程＝四泊五日。出発日＝七月二十九日（予定）会費＝四万一千円（大阪―大阪）定員＝東海で三十名。

▽沖縄　日程＝三泊四日。出発日＝七月二十九日（予定）会費＝五万七千円（大阪空港―大阪空港）定員＝東海・北陸で四十名。

▽香港・台湾　日程＝五泊六日出発日＝八月二日（予定）会費＝十二万円（東京空港―大阪空港）定員＝全国で五十名。

▽北海道B　日程＝六泊七日。



（写真　昨年度研修旅行写真コンクール・北海道知事賞受賞作品・カラー・仁川茂氏（大阪市・大国小学校）

## ヨーロッパ教育事情視察
### 日教組と全修協提携

第八次日教組・ヨーロッパ教育事情視察団の募集は、ことしから全修協が主催して行なうことになり、従来の教職員研修旅行に一段と花を添えた。出発は八月一日、帰着は同二十日（予定）で旅行地はモスクワ、パリ、ロンドン、プラハ、ミュンヘン、ルツェルン、ミラノ、フィレンツェ、ローマなど七か国九か所。おもな見学地はレーニン廟、モスクワ大学、クレムリン大宮殿、パリ凱旋門、シャンゼリゼ公園、バッキンガム宮殿、プラハのカレルの石橋、フラチャニ城、ミュンヘンのオリンピック施設、スイスからのアルプス展望、スカラ座、フィレンツェ花の聖母寺、ウフィツイ美術館、サン・ピエトロ寺院、トレビの泉などきさまざま。随所で現地の教育団体との交流も行なわれる。募集の要項次の通り。

▽会費四十万八千円▽定員百名▽申込み切六月十九日正午▽申込金五万円（会費に充当）▽申込みと問い合わせは各都道府県の全修協支部、教職員組合、学校生活協同組合など。

## 新支部長が就任
### ―和歌山と大阪―

岩尾　覚氏

西岡槿治郎氏

全修協では和歌山県支部長に、岩尾覚、大阪支部長に西岡槿治郎両氏を任命、四月一日付で発令した。これに伴ない前大阪支部長石川為蔵氏は相談役、また、前和歌山県支部長宮所恒楠氏は近畿地区参与にそれぞれ委嘱された。新支部長の略歴はつぎの通り。

**岩尾　覚氏**

和歌山県師範学校本科二部卒、日大専門部政治科卒、同法文学部社会学科卒。同県内の小中学校、東京都内各小学校を歴任後、和歌山県教組書徒、昭和二十二年同組合常任執行委員、同二十三年副委員長、同二十四年から三年間、執行委員長、三十二年まで県内中学校長を歴任、三十三年から四十二年まで再び県教組委員長、昨年七月まで同教組顧問。六十歳。

**西岡槿治郎氏**

昭和五年、大阪府天王寺師範学校本科一部卒。岸和田市内各小学校を歴任、昭和二十三年各小学校長。同二十四年、府教職員互助組合理事長、同二十七年に府教育委員となる。同三十一年任期満了後各小学校長、同四十五年退職。多年、学校教育、社会教育の振興に寄与したので大阪府教育委員会からそれぞれ表彰された。

## 全修協支部長各地で当選
### ―府県議会議員に

今回行なわれた統一地方選挙で府県議会議員に立候補した全修協各府県支部長はつぎの通り当選した。

▽山形県・先戸一郎▽宮城県・高橋富士男▽千葉県・狩野政一▽京都府・芦田重左衛門▽兵庫県・魚谷時太郎▽福岡県・村山助雄。

＝敬称略。

## 修学旅行の手引書

京都市で発行

京都市文化観光局では本年度版の「京都市・修学旅行のあり方について」を発行した。小、中、高校別の見学コース案内、文化財鑑賞の手引き、社寺の解説から旅館のきめかた、土産品の買いかた、交通案内図もついている。B六判百二十六ページ。希望者は郵券四十五円を同封して全修協広報部へ。（部数僅少）

## 私学現地研修会

第八回東京私学修学旅行現地研修会は"飛鳥の里と山の辺・柳生両古道の探究"として八月二十一日から同二十四日まで、全修協主催、東京私立中学高校協会、同修学旅行研究調査会の協賛で行なわれる。会費二万四千三百円。


修学旅行には

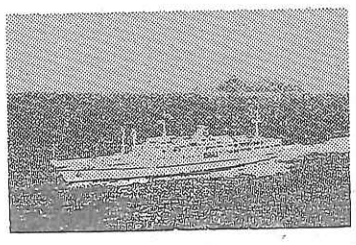
すし弁当
幕の内弁当
お好み弁当

■完璧な衛生管理
■栄養価が高い
■低廉で迅速

弁当の専門店
よし豊
京都市左京区松尾万石町
電話 075（381）4215

若い心を大きく広げる

豪華観光船 ふじ・にほん丸（旅客定員 1,800名 3,000トン）



見ているだけで、心が大きく広がる海――
修学旅行は海になさいませんか。
日本最大の豪華客船　ふじ・にほん丸が、
生涯忘れえぬ修学旅行へご案内いたします。
純白の船体に若い心をのせて……。
●科学技術の粋をあつめた最新鋭船。
●一流ホテルのような豪華な設備、完全エアコン。
●皆さまのスケジュールにあわせて就航。
●学習講義用TVシステムも完備。
●一般乗客との混乗はありません。
●お問い合わせは●
Ⓐ 大島運輸株式会社 東京支店　東京都中央区日本橋通1の6 浅野ビル ☎(03)273－8911